

植原路郎 うきはろ 著述家。昭和五十八年八月七日歿（一九三三）。本名 たけのり 武徳。號碧々亭路生。大正七年早稻田大學卒。内外通信社博報堂勤務 はつと。

著書 『社會起原と珍聞』（昭和四年一月十五日實業之日本社）、『珍談奇談集』（合著、昭和八年十一月十六日大日本雄辯會講談社「キング文庫」）、『新聞廣告四拾年史』（内外通信社通信部編、昭和十年十月五日内外出版社）、『瀨木博尚追憶記』（編、昭和十五年一月）十『内外通信社博報堂』（『日本事物起原誌—歴史上の見える吾等の祖先の生活』（昭和十八年十一月十日臨林堂書店）、『食卓への招待—味の事典』（昭和二十一年五月二十一日実業之日本社）、『そばの味』（昭和二十一年十一月）千日大阪・六月社「二月新書」）、『座談の泉—華はじめの・物はじめの』（昭和二十二年五月五日実業之日本社）、『新聞がちばなし』（昭和二十二年八月二十日虎書房）、『高橋お伝と金時計』（平野光雄共著、昭和二十四年九月春夏秋多俱樂部部）、『実用本の辞典』（昭和二十九年九月二十日出版「ユーエス社」）、『実用そば辞典』（昭和四十四年九月十日東京文献センター）、『明治語彙—言葉ごと描く風俗誌』（昭和四十五年十一月二十日桃源社）『桃源選書』（『そば風土記』（昭和四十九年四月五日毎日新聞社）等。

